

令和8年8月31日開催

区長記者発表



令和8年度港区一般会計補正予算(第2号)

22億4,028万4千円 (11事業)

主な施策

- 小学校・中学校の新入学期等における応援祝金事業 14億4,590万円
- 区道などへのスマートごみ箱の設置 1,978万円
- みなトクPAYポイント還元キャンペーンの強化及び
プレミアム商品券の追加発行 10億1,909万円
- 保育施設のアレルギー児対応支援を拡充 365万円

小学校・中学校の新入学期等における 応援祝金事業を開始

公立・私立等を問わず、義務教育期間の節目を迎え、未来へはばたく子どもたちを応援します。

中学卒業期を含む応援祝金は
23区初！

対象者



小学校
新1年生
(入学期)

中学校
新1年生
(入学期)

中学校
3年生
(卒業期)

1人当たりの支給額 **10万円**

- 公立・私立等を問わず支給
- 初年度は、令和8年・9年の新入学者等が対象
- 対象者数 約14,100人（初年度）

令和9年2月下旬から支給開始予定

区道などに「スマートごみ箱」を設置

地域の声を実現

まちの美観を守るため、ポイ捨てが課題となるエリアにスマートごみ箱を設置します。

現 状



観光地や繁華街等でポイ捨てが発生し、まちの美観・生活環境に影響

スマートごみ箱の設置



▲イメージ画像(AIで生成)

- センサーでごみの量を検知
- 可燃ごみを圧縮し、回収頻度削減につながる

3エリアに9基設置（予定）

- ① 大門通り（3基）
- ② 東麻布児童遊園（2基）
- ③ 品川駅港南口（4基）

みなトクPAY の拡充及び プレミアム商品券追加発行



アプリは
20万DL突破！

ポイント還元の拡充とプレミアム商品券の追加発行を支援し、物価高の影響を受ける区民生活を下支えするとともに、地域経済の活性化を推進します。

ポイント還元キャンペーンの強化

1人当たりの上限を拡大！

10,000pt → **15,000pt**

2月実施(予定)

- 中小個店 20% ⇒ **25%** 7,000pt ⇒ **10,000pt**
- 大型店 10% ⇒ **20%** 3,000pt ⇒ **5,000pt**

プレミアム商品券を追加発行

プレミアム率

20%

3月発行
(予定)

- 電子商品券 10.5億円
- 紙商品券 3億円

※電子商品券は区内在住者・在勤者のみ購入可
※紙商品券は区内在住者のみ購入可

より多くの方に安心してご利用いただけるよう、相談体制も充実！

土曜特別相談窓口の開設

みなトクPAYアプリの使い方や商品券の利用方法を、個別にサポートします。

日 時 令和8年9月5日、12日
10時から15時まで

場 所 札の辻スクエア8階
港区商店街連合会事務局



アプリの登録から利用まで、その場でサポート

デジタル活用支援員相談窓口

高齢者が安心してデジタルサービスを利用できるよう、スマートフォン等の操作やみなトクPAYなどに関する個別相談を実施しています。

- 区内11か所で相談可能（予約不要）
- スマホ・タブレット端末の操作方法
- オンラインでの行政手続き等操作の支援
- スマホをお持ちでない人も相談可能

	日	月	火	水	木	金	土
開設曜日 会場一覧	虎ノ門 高輪区民C 港南	神明 麻布 赤坂区民C 台場区民C	虎ノ門 南麻布 青山 高輪 ラグच्छ	神明 麻布 赤坂区民C 高輪区民C 港南 台場区民C	虎ノ門 南麻布 麻布 青山 高輪 ラグच्छ	神明 赤坂区民C 高輪区民C 港南 台場区民C	南麻布 青山 高輪 ラグच्छ



いきいきプラザ等の身近な施設で
高齢者のデジタル活用を支援！

保育施設のアレルギー児対応支援を拡充

私立認可保育園等のアレルギー児対応を推進するため、各事業者への補助対象に「全体除去」を追加します。

対象施設 私立認可保育園・小規模保育事業所（保育サービス推進事業）／認証保育所（保育力強化事業）

個別除去加算（従来）

医師の診断書等に基づき、対象の子どもごとに除去食・代替食を提供

対象児童数 × 22,000円（月額）



小規模保育事業所については、**都補助に加え、区が補助額の1/2を負担し、事業者支援を強化！**

全体除去加算【新設】

アレルギー児の在籍時に、園全体で一律にアレルギー食品を使わない対応

対象月数 × 10,000円（月額）

+

令和8年11月以降、交付手続開始予定（適用は令和8年4月1日に遡及）

公衆浴場法施行条例及び 旅館業法施行条例及の改正

区内全てのサウナ施設（公衆浴場及び旅館業の125施設）を対象にした調査結果等を踏まえた条例改正により、サウナ施設利用者における安全対策を強化します。

主な改正点



非常用ブザーの設置

サウナ室内への非常用ブザーの設置を義務化します



定期的な点検

非常用ブザーの定期的な点検と動作確認を義務化します



扉構造の見直し

扉は内部から容易に開放できる構造とし、閉じ込めのおそれがあるラッチ等の使用を禁止します



緊急時対応体制の整備

事故発生時等に迅速な対応ができる体制の整備を義務化します

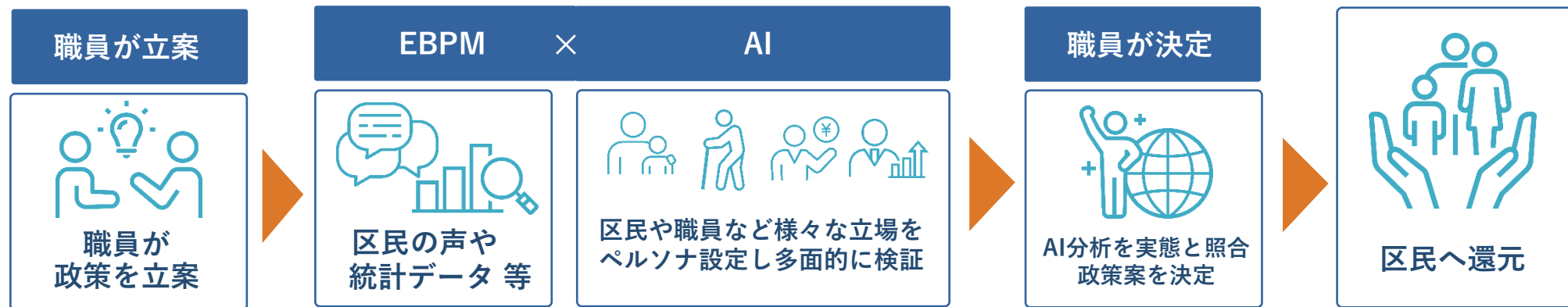


既存施設に対しては、経過措置を設けて安全対策を徹底。改善が図られない施設に対しては、改善措置命令等の行政処分を含め対応します。

EBPM × AIの新たな政策立案手法 「みなと AIPM」を始動

全国初

区民の声、統計データなどのEBPMに加え、AIにより多様な視点からチェックし、検証・補強することで、区民起点で、より速く的確な政策形成を進めます。

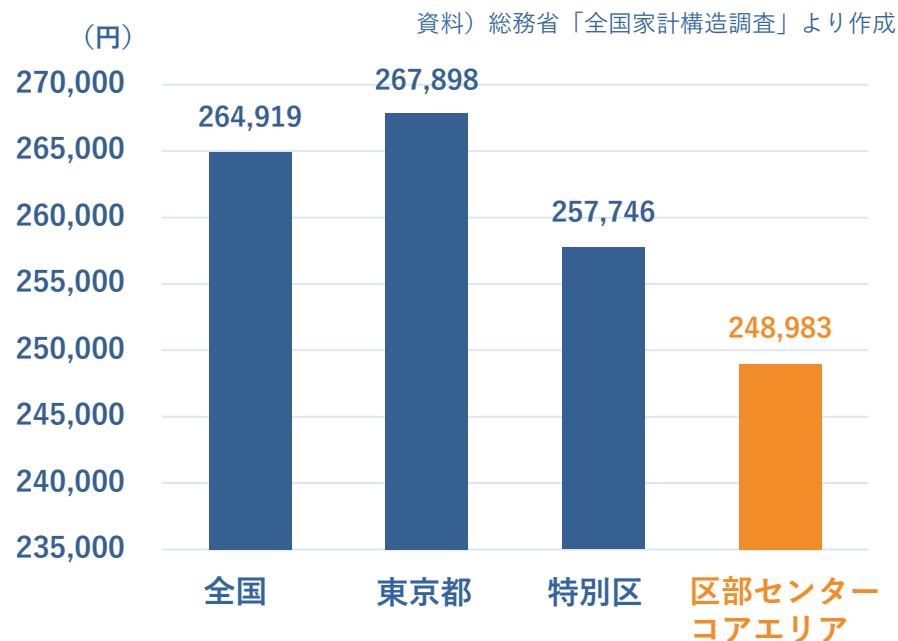


令和9年度予算編成から
試行的に活用

- 職員が立案した政策を、子育て世帯や高齢者などの区民や、企画・財政・法務担当職員など様々な立場を再現したAIペルソナが政策を検証し、より精度の高い政策形成を実現。
- AIが資料デザインや伝え方も支援し、政策内容を分かりやすく区民へ届ける。

港区独自の所得制限の設定に向けた研究を開始

区民の生活コストと支援ニーズを独自に調査し、区民の生活実態に即した公的支援のあり方を検討します。



可処分所得から「基礎的支出＋教育」を引いた生活資金の全国と特別区の比較(2024 年)
【二人以上の世帯、1 世帯・1 か月あたり】

可処分所得から基礎的支出と教育費を差し引くと、港区の生活資金は全国を下回る

全国初

生活コストを踏まえた
所得制限の調査研究

港区独自の所得制限の設定に向けた研究を開始

調査対象

区民 5,000人
(18歳以上から無作為抽出)
モニター 1,000人
(他自治体在住者含む)

- 収入・貯蓄・支出の内訳
- 経済的な負担感と暮らしへの影響
- 所得制限に対する考え方

所得 ≠ 余裕

港区を含む都心部では、住宅費・教育費などの負担が大きく、全国一律の所得基準では生活実態を十分に反映できない可能性があります。

港区の実情に即した支援制度へ

調査時期

9月上旬 — 9月下旬

港区まちづくりマスタープラン改定骨子

社会情勢の変化や新たなまちづくりの課題を踏まえ、改定骨子では、令和9年度からおおむね20年後を見据え、5つの重点課題に対応する分野横断的な視点を新たに位置付けます。

5つの重点課題

- 都市課題の複雑化
- 都市空間全体としての質の向上
- 多様な主体による地域運営
- 激甚化する災害への対応
- 誰もが暮らしやすい都市環境



まちづくりの方針と分野横断的な3つの視点

まちづくりの骨格となる分野

- 分野1 - 土地利用・活用 -
- 分野2 - 住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯 -
- 分野3 - 道路・交通 -
- 分野4 - 緑・水 -

骨格となる分野と幅広く関わりのある分野

- 分野5 - 防災・復興 -
- 分野6 - 景観 -
- 分野7 - 脱炭素化 -
- 分野8 - 国際化・観光・歴史・文化 -

分野横断的な視点



改定スケジュール（予定）

令和8年度（2026年度）
パブコメ実施

令和9年度（2027年度）
計画改定

令和19年度（2037年度）
中間見直し

令和29年度（2047年度）
目標年次

港区版ご当地ナンバープレート導入意向調査

「港」ナンバー導入に関する区民・事業者の意向を把握するため、アンケート調査を実施します。

調査対象

区民 1万人

(満18～74歳 無作為抽出)

事業者 8,200社

(区内に拠点を有する事業者)

- 自動車の所有、運転の状況
- ご当地ナンバープレート導入への賛否



「港」ナンバーのイメージ

- 「走る広告塔」として港区の認知度向上
- 地域への愛着と一体感を育む
- 魅力ある風景や観光資源の発信



幅広いご意見を伺うため、どなたでも参加できる
Webアンケートも同時期に実施予定！

小学校5・6年生を対象とした 学びの多様化学校「Minato School」を開設

背景

- 区立小学校の不登校児童数は依然として多い
- 令和7年開設の中学生対象の「Minato School」に続く支援の充実が課題
- 小学校にも学びの多様化学校を求める声

港区立小学校の不登校児童数



概要

- 設置場所：港区立教育センター（虎ノ門3-6-9）
- 対象児童：区内在住の不登校の小学校5・6年生
- スケジュール：
令和8年10月 説明会・入学相談申込開始
令和9年 4月 開設



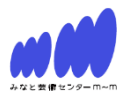
港区立みなと芸術センター^むm~^むm ロゴマークが決定

令和9年11月開館予定の「港区立みなと芸術センターm~m」のロゴマークが決定しました。

- 2つの「m」は、「私」と「港区」がつながり、水面に生まれる波を表現。
- 人・もの・出来事と場所が出会い、関わりを広げながら成長していく姿を表す。



みなと芸術センターm~m
Minato Arts Center m~m



みなと芸術センターm~m



みなと芸術センターm~m



みなと芸術センターm~m

ロゴマークを
広く発信し、
開館への
期待を高めます

愛称は「飯倉の杜」に決定

愛称決定にあたっては、学識経験者、地域の代表者（町会・自治会連合会長）、区職員で構成する「（仮称）東麻布二丁目複合施設公共施設棟愛称選考委員会」を設置し、選考を実施しました。



決定した愛称

いいぐら もり
飯倉の杜

全258点の応募の中から決定

公募デザインを活用した不法投棄対策を実施

六本木交差点周辺でのごみの放置や不法投棄、ポイ捨ての防止に向け、商店街と連携した啓発事業を実施します。

デザインテーマ

「Roppongiに住もう ちいさなひとたち」

ごみが捨てられやすい「意思のない余白」にデザインの力で意味を与え、ポイ捨てしにくい空間へ。
「ちいさなひと」が清掃する姿により、そこを大切にしている存在に気づき、美しいまちを守る意識を自然に呼び起こします。

佐藤隆広（OHAGI）さん（グラフィックデザイナー）



公募デザインを、まちなかに展開！

- サイネージ・路面シール・商店街灯・横断幕など、様々な形で発信 -

商店街灯 実装イメージ



路面シール 実装イメージ



サイネージ動画



横断幕 実装イメージ



防災用品のカatalogをお届け

令和8年8月1日時点で区内に住民登録がある世帯を対象に、防災用品カatalogをお届けします。9月1日から順次発送します。



ポイント

- 区内全世帯（約15万6,000世帯）へカatalog送付
- 1世帯あたり5,000円相当
- 12月11日（金）まで申請受付

何を選んだらいいか迷われる方へ相談窓口を開設します

ニーズに合わせて選べる防災用品(一例)

01



室内の安全対策

02



火災に備える

03



停電に備える

04



断水に備える

05



共同住宅の震災対策

06



安全に避難するために

07



ペットとの避難に備える

令和8年熊本地震への支援

物資や住宅提供等の支援

- 熊本県八代市へ飲料水や段ボールベッド等の物資支援
- 区役所窓口にて、義援金の受付を実施
- ふるさと納税の代理納付を実施
- 区民向け住宅2戸の提供



職員派遣

区職員を3週連続派遣し、現地で罹災証明の発行など、支援活動に従事しています。



「港区大規模災害被災地の支援等に関する条例」
に基づき迅速に支援！

港区立赤羽幼稚園等複合施設が開設

幼稚園、放課GO→クラブ、小規模多機能型居宅介護施設、小学校プールを一体整備しました。



整備のポイント

- 老朽化、児童・園児数増への対応
- 北側・南側敷地を一体活用
- 多世代交流を促進
- 令和8年8月から順次運営開始

SNSで大注目

融資あっせん制度拡充による支援実績

物価高騰の影響を受ける中小事業者の資金繰りを支援するため、7月1日から緊急支援融資を3,000万円、経営改善融資を2,000万円と上限額を1,000万円ずつ引き上げました。

利用実績（7/1～8/17）

融資あっせん件数

248件

前年同期比 約1.3倍

緊急支援融資の件数

50件

前年同期比 約1.7倍

● 緊急支援 平均額 **1,942万円**
前年比 約+600万円

● 経営改善 平均額 **1,750万円**
前年比 +1,450万円

令和8年8月31日開催

区長記者発表

